

# 東風の里通信

## 140号

発行元  
東風の里広報委員会

南部地区医師会立 介護老人保健施設『東風の里』  
〒901-0411 沖縄県八重瀬町字友寄 891-1番地  
TEL(098)998-9390 FAX(098)998-9393  
<http://www.nanbu.okinawa.med.or.jp>



## 『インフルエンザ』『influenza』について

皆様、涼しくなったこの陽気の中どう過ごでしょうか？

9月・10月と沖縄県を直撃した台風24・25号の記憶も新しいままもう11月、今年もインフルエンザが流行してしまふ時期が迫って来ています。

インフルエンザに対する知識や予防方法、マナー等、皆様は御周知の程だと考えておりますが・・・。

ところで、皆様はこの感染症を、なぜ「インフルエンザ」というか御存じですか？

「インフルエンザ」の語源は、16世紀のイタリアに遡るそうです。

当時も冬になると毎年のように流行し、春になると自然に終息していたようですが、まだ感染症という概念が無かったようです。

天体の運行や寒気などの影響と考えられ、病名を「影響」を意味するイタリア語『influenza』と名付けたそうです。

それから500年が経過し、ウイルス感染症という原因も判明し、抗ウイルス薬やワクチンも開発されました。にもかかわらず、毎年このように変わることもなく流行し、私たちはその対策に追われています。

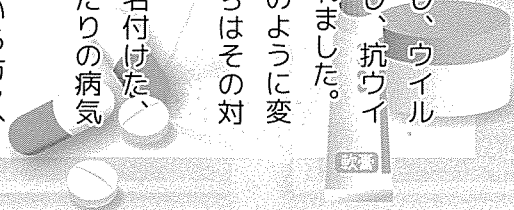
まさに当時の占星術師が名付けた、「影響」という名前がぴったりの病気だったということです。

今年こそはと注意されている方々、今年も大丈夫と自信満々の方々と様々だと思えますが『influenza』

に「影響」されてしまわない様に感染対策と健康管理

理に気をつけて今年も冬を元気に乗り越えて行きましょー!!!

入所看護  
桃原 務



# 通所 敬老会



10月13日(土)東風の里、通所リハビリテーション敬老会を行いました。

司会は、支援相談員の金城 杏祐美さん！今回も素敵な衣装を身に纏い、心地よい柔らかなvoiceに少し緊張気味の利用者も「ホッ！」緊張も緩み日頃の笑顔！

幕開け一番！みどりが丘保育園の園児によるシーちゃんダンス&獅子舞！

可愛い獅子舞の姿に思わず、にんまり(〜)。沖縄の宴の座開きでもある、かぎやで風は、リハビリ職員の城間美香さんと同じ道場に通われている屋富相淳子さんにより、落ち着いた貫禄のある踊りを観賞しました。

今年は8名の利用者がカジマヤー、トーカチを迎えられ参加者全員で祝福し、仲井間施設長より、お祝いの言葉。城間事務長より乾杯の挨拶を頂きました。

後半余興では、東風の里！夜の番人こと比嘉 修さんによる日舞。

琉舞が日常な者にとっては、とても新鮮な体験でした。

空手では、リハビリの若きエース！大城光平くんによるキレツ！キレの型。

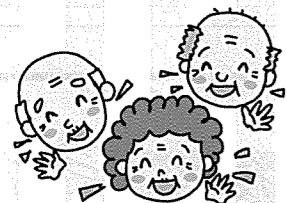
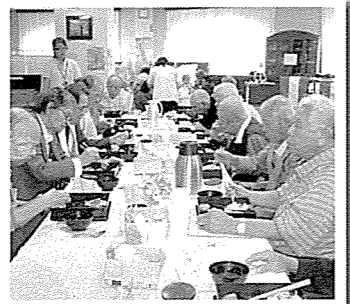
日頃クールで物静かな彼からは想像ならぬ技のキレに会場一同うっとり(〜>〜<)。♡

職員余興では駕籠を担いだ男前の2人に東風の里一の「美ら女」登場に割れんばかりの笑いに涙の閉幕となりました。

利用者の皆様が楽しいひと時を過ごされた事にパワーを貰うとともに、快く余興を引き受けてくださった関係者、職員の皆様お疲れ様でした。

今後も利用者様が日々素敵な笑顔で過ごせますように、と願っています。

通所リハビリテーション 與那嶺 士郎





# 月明りの下で・・・

## 職員観月会




10月20日(土)、那覇市波之上の「エヌバーナ」で職員観月会が行われました。天気にも恵まれ、綺麗な月明りのもと美味しい食事と楽しい会話で、職員の親睦を深めました。年に一度の観月会ではありますが、仕事を離れてリラックスした中での部署や役職を超えての交流は、お互いを理解し、今後のチームワークや絆を深めるのに役立つと思います。

日頃の頑張りがあるからこそ、このような場が楽しめる。この観月会が職員の日への活力になれば、と願っています。

互助会 仲村涼子

## 入 職 者 紹 介

①氏名 ②所属部署 ③血液型 ④出身地 ⑤趣味  
⑥好きな食べ物 ⑦嫌いな食べ物 ⑧座右の銘 ⑨抱負の一言



①大城 祐二 ②リハビリ(作業療法士) ③A型 ④八重瀬町  
⑤サッカー・マリンスポーツ ⑥ゴーヤーチャンプルー ⑦特になし ⑧一期一会  
⑨地元、八重瀬町出身なので地域に貢献できるよう、また、利用者様の沢山の笑顔が見られるよう頑張りたいと思います。

## 編 集 後 記

朝晩、めっきり涼しくなってきた。皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？

台風一過が秋を呼び、子供たちも夏の寝苦しさも忘れ、今では部活の帰りの車中で夕食メニューが専ら気になる様子です。

「天高く馬肥ゆる秋」食欲の秋や実りの秋は、氣候が穏やかで空気も美味しくなり食も進み、馬も太るほど食べ物も美味しい。といった軽い意味合いで使っている人も多いですね。

ですが、この言葉「警告の言葉」なのです。

「天高く馬肥ゆる秋」は中国から伝わってきた言葉です。

その意味を簡単に言うと、「馬が肥えたころには、冬に備えて遊牧民が襲ってくるので気をつけろ」という戒めの意味を持つ言葉なのだそう。

日本で使われる「天高く馬肥ゆる秋」には、どこか牧歌的な雰囲気がありますが、全然違いますね。

もしも今、「天高く馬肥ゆる秋」を故事に即した使い方をすると、「天高く馬肥ゆる秋って言うし、敵はすぐ近くかもだから用心しなきゃね」といった感じですね。

秋に来る敵となると、すぐに浮かぶのはやっぱり「食欲」かな？(笑)

通所リハビリテーション 與那嶺士郎